

GALAC・12月号・付録  
2009年12月6日発行(毎月1回6日発行)  
昭和43年6月8日第三種郵便物許可  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F  
NPO法人放送批評懇談会  
TEL(03) 5379-5521 / FAX(03) 5379-5510  
ホームページ http://www.houkon.jp/  
Eメール kondankai@houkon.jp  
編集・隈部紀生

# ほうこん

題字・清水英夫

10月28日理事会を開催した。  
◇出版編集事業委員会  
「GALAC」12月号は表紙が嵐の相葉雅紀さんで、発売前から予約が相次ぎ1万1000部刷った。1月号はギャラクシー賞上期の入賞・入賞候補作品発表のほか年末年始の特集として「放送ゆく年くる年」を組む。表紙は志田未来さん。2月号は特集が「2010年はこんなドラマを見たい!」、表紙は佐藤隆太さん。@niftyニュースでの配信を増やし月間賞の記事も配信を開始した。  
◇選奨事業委員会  
テレビを除いてギャラクシー賞の上期の入賞候補作品が決まった。(テレビはその後7本の入賞作を選んだ)発表は11月17日。  
〈テレビ部門〉

上期の応募は9月末の駆け込みで100本を越えた。入賞作品はこれまで上期、下期7本ずつ選んできたが、年間14本は変えずに若干微調整する裁量を持たせてほしいと要望があり、十分注意して運用するようにという注文がついた。  
〈ラジオ部門〉  
上期の応募本数は去年より若干減ったが、応募社数は去年上期の17社から21社に増えた。議論が長引いたが8本の候補作を決めた。  
〈CM部門〉  
4回投票をして候補作13本を選んだ。  
〈報道活動部門〉  
応募作が9本しかなかったが、例年通り4本の入賞候補作を決めた。11月7日(土)に日本大学芸術学部江古田キャンパスで開く

「テレビ報道活動・ギャラクシー賞受賞作を見て、制作者と語る会」に参加してほしい。  
◇企画事業委員会  
2010年3月8日(月)に開くシンポジウムで広告メディアの変容を語るセッションの講師3人とデジタル時代の地方局の経営を取りあげるコーナーの講師2人が決定。政権交代下の放送秩序を取りあげるパートは調整中。  
◇第9回日韓中TV制作者フォーラム報告  
10月14日、17日大規模な開発工事が進む韓国の仁川で開かれた。日韓中4本ずつの作品を持ち寄って上映し、同時通訳を使って討論したが、かなりハードスケジュールだった。制作者同士のフォーラムが初期の志だが、制作者が参加しない例もあり、多少中途半端な感じもした。来年は第10回で中国の蘇州で開かれるが、制作者レベルの原点に返って再構築する必要がある。東アジアのほかの国々にも参加を呼びかけることも検討してよい。  
◇第47回ギャラクシー賞贈賞式の

演出について  
2010年6月3日にウェスティン・ホテルの会場を仮押さえていたが、正式に契約した。贈賞式、パーティーの演出について司会者などを決める必要がある、次回理事会開催日の11月30日(月)午後4時30分から関係者の打ち合わせ会を開く。  
◇記念事業プロジェクト  
11月中にも2回目の会合を開いて50周年記念事業として「放送批評」「GALAC」の代表的論文を集めた本を作ることを中心に検討をする。  
◇財務プロジェクト  
当面メールで情報交換をしながら、賛助会員の勧誘などを進める。  
◇入会の承認  
小原道雄さん  
◇退会の承認  
坂本洋さん(ご逝去)  
維持会員 ハイスクール  
◇理事会の日程  
11月は11月30日(月)午後6時半から。12月は12月15日(火)午後6時から理事会、午後7時30分から忘年会。来年1月の理事会1月25日(月)午後6時30分から。

| 会議記録       |                                           |
|------------|-------------------------------------------|
| 「10月」..... |                                           |
| 1日         | 出版編集委員会<br>(選奨) テレビ月評会                    |
| 2日         | (選奨) ラジオ定例部会<br>(選奨) CM選考会                |
| 16日        | (選奨) ラジオ「ワイド音楽&エンタテインメント」選考会<br>出版編集委員会   |
| 22日        | (選奨) ラジオ「ドラマ・ドキュメンタリー」選考会<br>(選奨) 報道活動選考会 |
| 23日        | (選奨) ラジオ「ワイド音楽&エンタテインメント」選考会<br>出版編集委員会   |
| 24日        | (選奨) ラジオ「ワイド音楽&エンタテインメント」選考会<br>出版編集委員会   |
| 28日        | (選奨) ラジオ「ワイド音楽&エンタテインメント」選考会<br>出版編集委員会   |
| 30日        | (選奨) ラジオ「ワイド音楽&エンタテインメント」選考会<br>出版編集委員会   |

「出席」  
音好宏、隈部紀生、小田桐誠、石井彰、市村元、五井千鶴子、坂本衛、嶋田親一、滝野俊一、橋本隆、松尾羊一

## 開始直前のNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」制作者を囲む会のお知らせ

ゲスト 西村与志木エグゼクティブ・プロデューサー

司馬遼太郎原作のNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」が2009年11月29日から放送が始まります。そこで放懇有志の企画で、制作決定のいきさつや長い歳月にわたる制作について、統括した西村与志木さんにお話を伺います。奮ってご参加ください。

いよいよ話題の「坂の上の雲」が始まる。開始直前にその制作決定までのいきさつや制作の秘話、苦労話を伺います。ドラマは第1部(2009年11月29日、20時~21時30分)、第2部(2010年秋)、第3部(2011年秋)とつづく。脚本は野沢尚、演出柴田岳志(第1部)。主な出演者は日露戦時の連合艦隊参謀秋山真之を本木雅弘、陸軍騎兵の父秋山好古を阿部寛、俳人正岡子規を香川照之、妹律を菅野美穂、夏目漱石を小澤征悦、伊藤博文を加藤剛、連合艦隊司令長官を渡哲也など豪華なキャスティング。独自の史観を持つ司馬遼太郎が描いた明治の軍人、文化人、政治家の群像をテレビはどう描くのか。制作者に直接伺います。

問い合わせは 石井清司メディア研究所 電話 090-9333-1633 FAX 03-3594-1633

|     |                                                                                                    |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日時  | 2009年11月24日(火)<br>午後6時30分から8時30分まで                                                                 |
| 場所  | 東京ウィメンズプラザ<br>(渋谷区神宮前5-53-67)<br>☎03-5467-1711<br>東京メトロ表参道駅B2出口を出て、<br>国連大学を右に入り、<br>エスカレーター降り口右隣り |
| 参加費 | 1000円                                                                                              |